


令和5年度「韓哲・まちづくり夢基金」 運用益等活用事業中間報告

令和5年度「韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業一覧

No	事業名	分野	担当課	予算額 (基金充当予定額)	執行予定額 (基金充当予定額)
1	グローバル人材育成事業	教育	教育委員会 学校教育課	16,566千円 (16,466千円)	17,497千円 (12,767千円)
2	韓哲・まちづくり夢基金事業補助金	その他	市長公室 政策企画課	10,000千円 (10,000千円)	9,457千円 (9,457千円)
3	高等学校全国募集入学生応援事業	教育 ほか	教育委員会 教育総務課	2,520千円 (2,520千円)	1,980千円 (1,980千円)
4	第3回京丹後市民陸上記録会	スポーツ	教育委員会 生涯学習課	300千円 (238千円)	300千円 (238千円)
5	京丹後市文化芸術振興計画及び 文化庁移転に伴う文化芸術推進事業	文化	教育委員会 生涯学習課	4,000千円 (2,000千円)	3,105千円 (1,553千円)
合計				33,386千円 (31,224千円)	32,339千円 (25,995千円)

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	執行予定額 (基金充当予定額)	17,497千円 (12,767千円)
目的	国際感覚を持ち将来グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、児童生徒を対象に諸外国への興味関心を深め文化や伝統を理解する機会を創設し外国語教育の充実を図るとともに、産学連携のもと新たな可能性を創造するSTEAM教育の推進を図る。				
事業概要・主な経費	<p>○Kyotango English Day【対象：小学3・4年生】1千円 10月21日（土）参加人数：11人 言語活動を中心としたCIR・ALTとの英語による交流会（通信運搬費）</p> <p>○Kyotango English Camp【対象：小学5・6年生】232千円（入：158千円） 10月21日（土）・22日（日）1泊2日 参加人数：19人 言語活動を中心としたCIR・ALTとの交流会（通信運搬費、施設使用料等）</p> <p>○オンライン留学【対象：中学1年生・高校生】5千円 10月3日（火）～12月5日（火）参加人数：中学生20人/高校生10人 フィリピンとのオンライン交流を開催。各家庭での交流に加え、期間中、全体研修7回（高校生は5回）実施。（通信運搬費）</p> <p>○中学生の海外派遣【対象：中学2年生】6,000千円 海外へ派遣し、一般家庭での生活体験や現地の学校で、学校生活を体験 期間：3月16日（土）～24日（日）9日間 派遣先：ニュージーランド ニュープリマス 人数：15人 ※渡航費用の2/3を補助金交付（旅費、補助金、謝礼品代等）</p> <p>○英語力向上アプリの導入（令和4年度～3か年事業）6,042千円（入：1,964千円） AIによる英語力向上アプリを市内全中学1～3年生のタブレットに導入 英語の「聞く」「話す」力を伸ばすとともに英語でのやりとりにより自信をもてる生徒を育成。授業や家庭学習での活用に加え、夏休みを活用してReading Contestを実施。（ライセンス使用料、旅費等）</p> <p>○「Kyotango Sea Labo」の開催（令和4年度～3か年事業）5,217千円（入：2,608千円） 本市の産業等の特色を活かしつつ、丹後学、デザイン思考、STEAM教育の要素を融合させたプログラム（6日間のワークショップ）を専門機関（海外の大学含む）と連携し実施 （報償金、旅費、委託料）【対象：中学3年生及び高校2年生】8月開催 参加人数：33人</p>			<p>活動のようす -The Development of Global Leaders in Kyotango -</p> 	
				成果・課題	<p>それぞれの発達段階に応じたプログラムの提供を実施し、語学の習得だけではなくコミュニケーション能力の向上や異文化理解に繋げることができた。</p> <p>また、参加者が限定されるプログラムだけでなく、市内全中学1～3年生を対象としたアプリの活用を通し、個別最適な指導及び生徒たちの学びへの意欲向上に資することができた。</p>

No2 韓哲・まちづくり夢基金事業補助金

分野	その他	担当部署	市長公室政 策企画課	執行予定額 (基金充当予定額)	9,457千円 (9,457千円)
----	-----	------	------------	--------------------	----------------------

目的 韓哲・まちづくり夢基金を活用し、本市の教育、文化、芸術又はスポーツの振興、地域経済活性化のための新産業の興隆その他のまちづくりに繋がる人材育成、顕彰等を行う者に対して、企画公募型の補助金を交付して支援し、市民等の夢の実現を後押しする。

4月から5月にかけて企画を公募。応募があった以下の10企画について採択し交付決定した。

No	事業名	提案者	補助金 交付決定額	補助金 交付確定額
①	キコリ谷「森のピアノ」	株式会社SORA	1,000千円	未完了
②	アーティストが当たり前にいるまち事業（仮称）	寺島 千絵	1,000千円	未完了
③	子どもたちに食×アートの体験を提供する 芸術文化教育事業	あしたの畑実行委員会	1,000千円	1,000千円
④	大地は器 土と絵と音と	ヒカリ美術館	970千円	970千円
⑤	伝説の里・羽衣音舞台	伝説の里・羽衣音舞台 実行委員会	1,000千円	1,000千円
⑥	まるっぼ美術館	丹後で福祉とアートをつ なぐ実行委員会	1,000千円	未完了
⑦	ロコスハートフェス ～Holo imura 今まさに前に進むために団結せよ～	ロコスハートフェス実行委 員会	487千円	487千円
⑧	子どもが能を学ぶプロジェクト	丹の国丹能会	1,000千円	1,000千円
⑨	丹後から能楽師プロジェクト イチから教わる能楽（初級・中級）	たんたんのうのう会	1,000千円	1,000千円
⑩	蒲井・旭ツリーハウスフェスティバル開催事業	蒲井・旭活性化協議会	1,000千円	未完了



韓さんのご子息・哲さんのゆめが刻まれた石碑（峰山総合公園内）

成果・課題

補助金を交付することにより、教育、文化芸術の振興、地域経済の活性化に寄与するとともに、市民の夢の実現を後押しすることができた。

事業概要・主な経費

① キコリ谷「森のピアノ」

未完了

- ・音楽芸術文化の発信を行っていくため、9月から11月の間、天気の良い週末を選んで月に1回、「森のピアノ」として、デッキ上にピアノを設置。音響設備を整え、コンサートなどを行う。
- ・令和5年度中に環境整備を行い、以降、コンサートや上映会などができるアウトドアシアターとして活用していく。

② アーティストが当たり前にいるまち事業（仮称）

未完了

- ・他地域において一定の評価を得ているアーティストと地域との協働によるプロジェクトを企画又はけん引したキーパーソンを招き、トークイベントを開催。
- ・「高齢化」「障害」「ジェンダー」など、様々な地域課題、社会課題とアートが掛け合わされたテーマを選定し、他地域との比較を通じて京丹後市における事業展開の可能性を探る。
- ・本事業を「アーティストが当たり前にいるまち」の実現に向けた新たな活動団体を組織するためのきっかけにしたい。



宮津市出身の料理人、吉岡哲生氏による料理ワークショップの様子

③ 子どもたちに食×アートの体験を提供する芸術文化教育事業

完了

- ・収穫、調理、販売体験を通じた食育の普及を図るとともに、国内外で活躍するアーティストや工芸作家が地域に滞在する体制を構築し、子どもたちへ芸術教育を行う機会を創出することを目的とする事業。
- ・料理ワークショップ「あしたの台所」
宮津市出身の料理人、吉岡哲生さんが「目にも口にも“美味しい”食事はどのように作られるか」を小学生たちと考える料理ワークショップを開催。参加者12名。
- ・木工ワークショップ「あしたの工房」
国内外で活躍する木工作家・中川周士さんが、丸太をまるごと解体して、そこからまな板を作る方法を教えてくれるワークショップを開催。参加者9名。

No2 韓哲・まちづくり夢基金事業補助金 参考資料 【事業概要と主な実績】



大宮ふれあい工房で開かれた企画展の様子

④ 大地は器 土と絵と音と

完了

- ・地域文化の実践と地域を世界に発信する企画展「大地は器2023 土と絵と音と」を令和5年11月19日～26日にかけて開催。会場では、アーティストによる制作作品の展示とライブペイントと音のパフォーマンスを披露した。
構成作家：カンビョンユン、木本景子、奥野英恵、カタリコト（山崎昭典・安田敦美のユニット）
- ・期間中、約120名が来場。海外の経験を持ったそれぞれの作家が丹後という「場」をテーマに表現することで地域の魅力を発信することができた。

⑤ 伝説の里・羽衣音舞台

完了

- ・羽衣伝説の継承、地域活性化、子どもたちに愛される伝説の里づくりを目的に、音楽イベントを開催。
- ・当日は、二胡のコンサートやYouTuberによるトークショー、羽衣伝説を紹介する動画放映のほか、魚掴み体験や夏野菜の収穫体験を実施、268名が来場。
- ・地域の子どもたちをはじめ、来場者に地域の魅力や羽衣伝説を発信 することで郷土愛の醸成に寄与することができた。
- ・また、地域の若者にもイベントの運営スタッフとして参加してもらうことができ、地域を担う人材の育成にもつながった。



⑥ まるっぼ美術館

未完了

- ・障害のあるひと、社会的に弱い立場にある子どもや高齢者などさまざまな属性や世代の壁を越えて生み出されるアートを介した日常的な交流機会を創出することを目的に、TANGOまるっぼ美術館として、11月にショッピングセンターマインにてボードレスアートの作品展示、ワークショップ等を実施。



ロコスハートフェスの様子（モダンバレエ×吹奏楽）

⑦ ロコスハートフェス

完了

- ・文化芸術活動の発表の機会、活動団体の交流の機会をつくり、文化芸術活動の継承と質の向上を図ることを目的に、ステージイベントを開催。
- ・当日は、大人60名、子ども76名が出演し、フローイングヨガとモダンバレエ、ウクレレとフラダンス、吹奏楽とモダンバレなど大人の文化芸術団体と子どもたちのコラボステージを披露。これらの発表を行うために、単独ステージとは別に、それぞれの団体が合同練習を実施した。
- ・異なる年齢や踊り、音楽の垣根を飛び越えて共演し、互いのステージを観ることで豊かな感受性の育成に貢献することができた。また、これをきっかけに、他のイベントでの共演も実現することができ、丹後の文化芸術の振興に寄与することができた。

⑧ 子どもが能を学ぶプロジェクト

未完了

- ・若い世代に日本の伝統芸能である能の楽しさを伝え、伝承することを目的に、能楽師及び地域の子どもたちによる能の公演、ワークショップをアグリセンター大宮で開催。
- ・大宮南小、大宮第一小、峰山高校においても能楽師によるワークショップを開催する。



第2回こども能の様子

⑨ 丹後から能楽師プロジェクト イチから教わる能楽（初級・中級）


完了

- ・プロ能楽師の直接指導を受け、能楽の基本動作や謡を習得し、伝統芸能継承の意識を高めってもらうことを目的とする事業。今年は、8名の生徒・児童（高1男子1名、中3女子2名、中2男子1名、小6女子1名、小5女子1名、小2女子2名）が参加。
- ・昨年に続き開催した「こども能」には、数年間(5～7年)稽古を続けてきた児童・生徒5名が出演しその成果を本舞台で発表した。今年はその経験を踏まえさらに精度を高める稽古を続け、新たに一人出演児童が加わって「こども能」見事に演じることができた。プロと同じ舞台に立ち、本公演として発表することは、より能動的に学ぶという実践につながった。
- ・当日は、久美浜町の3小学校、5年生児童が授業の一環で鑑賞。プロだけの公演を鑑賞するのと違い、同年代の人がプロと演じていることを見ることで、身近なものとしてとらえやすくなる効果があったものと考えている。

⑩ 蒲井・旭ツリーハウスフェスティバル開催事業

未完了

- ・蒲井・旭地域のシンボル“ツリーハウス”を活用し、子どもたちに、自然と触れ合い、環境保全について学ぶ機会を提供し、自然と触れ合う楽しさや魅力を体感してもらい、環境保全に向けて自ら行動できる人材の育成につなげることを目的とする事業。
- ・ツリーハウス公園の供用開始にあわせ、環境学習イベントを開催。当日は、ツリーハウスの無料開放や遊覧船の特別運行、ビーチクリーン、環境ワークショップ等を実施。

分野	教育ほか	担当部署	教育委員会事務局 教育総務課	執行予定額 (基金充当予定額)	1,980千円 (1,980千円)					
目的	<p>令和3年4月から京都府立丹後緑風高等学校（網野学舎）で全国部活動特別入学選抜が実施された。このため、京都府外の遠方から入学する生徒の下宿等（下宿、寮及びアパート等）に係る経済的負担を軽減するため、当該経費の一部を支援することで生徒の就学支援をはじめ、地域で培われたスポーツ風土を生かした部活動を応援することで人材の育成及び市内の高等学校の存続発展と地域の活性化に資することを目的とする。</p>									
事業概要・主な経費	<p>【支援内容】 下宿等の賃料（共益費、食費、光熱水費、生活雑費、修繕その他の居住の維持に関する経費を除く。）を補助対象経費とし、2分の1以内の額とする。ただし、月額2万円を限度とする。 また、交付は年3回、4箇月ごと（4月から7月分、8月から11月分、12月から翌年3月分）とし、期間は、高等学校の正規の修業年限である入学後3年以内とする。</p> <p>【対象者の要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 京都府外の都道府県からの入学生徒の保護者に支援する。 入学後、生徒は京丹後市の住民基本台帳に登録され、現に居住し、就学すること。 入学後、生徒は指定された部活動（レスリング部）に加入すること。 また、申請時には、学校長の証明を添えること。 令和5年度の募集人員は、6人以内とする。 									
	<p>【対象者の状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 令和3年度入学生</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 令和4年度入学生</td> <td>5人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 令和5年度入学生</td> <td>5人</td> <td>計11人</td> </tr> </table> <p>【支援の内容（見込み）】 下宿等の賃貸料（月額3万円×1/2）×12月×11人</p>	(1) 令和3年度入学生	1人			(2) 令和4年度入学生	5人		(3) 令和5年度入学生	5人
(1) 令和3年度入学生	1人									
(2) 令和4年度入学生	5人									
(3) 令和5年度入学生	5人	計11人								

令和5年度 丹後緑風高等学校全国部活動入学者選抜レスリング結果一覧

令和5年12月現在

	島根県松江市 出身(女)	広島県広島市 出身(女)	静岡県静岡市 出身(男)	大阪府吹田市 出身(男)	三重県四日市市 出身(男)	静岡県焼津市 出身(男)	東京都大田区出身 (男)	栃木県芳賀郡 市出身(男)	東京都府中市出 身(男)	静岡県藤枝市 出身(男)	埼玉県和光市出 身(男)
第66回全国高等学校選抜レスリング大会・学校対抗戦 (新潟県総合スポーツセンター)	2回戦敗退										
第66回全国高等学校選抜レスリング大会・個人対抗戦 (新潟県総合スポーツセンター)			80kg級 5位	55kg級 ベスト16	51kg級 5位	60kg級					
JOC杯令和5年度クィーンズカップレスリング選手権 (東京武道館)	U20 50kg級 優勝	U17 61kg級									
JOC杯全日本ジュニア大会			U17 F80kg級 2位				U17 G65kg級 1位				
令和5年度京都府高等学校総合体育大会レスリング競技 会兼全国高校生グレコローマンスタイル 大会京都府予選会(京都八幡高等学校)			80kg級 1位	55kg級 1位	51kg級 2位	60kg級 1位	65kg級 1位				92kg級 1位
令和5年度全国高校総合大会レスリング競技会兼近畿 高等学校レスリング選手権大会京都府予選会・学校対抗 戦(丹後緑風高等学校)	1位(6大会連続・17回目の出場)										
令和5年度全国高校総合大会レスリング競技会兼近畿 高等学校レスリング選手権大会京都府予選会・個人対抗 戦(丹後緑風高等学校)			80kg級 1位	55kg級 1位	51kg級 3位	60kg級 1位	71kg級 2位	51kg級 4位	55kg級 2位	65kg級 1位	92kg級 1位
近畿高校選手権・学校対抗戦(神戸・グリーンアリーナ 神戸)	2位										
近畿高校選手権・個人対抗戦・男子フリースタイル(神 戸・グリーンアリーナ神戸)			80kg 優勝	55kg 優勝	51kg 2位	60kg 優勝				65kg 3位	
近畿高校選手権・個人対抗戦・男子グレコローマンスタ イル(神戸・グリーンアリーナ神戸)							71kg 優勝	51kg 3位	55kg 3位		
近畿高校選手権・個人対抗戦・女子(神戸・グリーンア リーナ神戸)	50kg 優勝	62kg 優勝									
令和5年度全国高等学校総合体育大会レスリング競技大 会・学校対抗戦(北海道・真駒内セキスイハイムアイス アリーナ)			●	●	●	●	●	●	●	●	●
令和5年度全国高等学校総合体育大会レスリング競技大 会・個人対抗戦(北海道・真駒内セキスイハイムアイス アリーナ)	女子50kg級 優勝	女子62kg 2位	男子 80kg級 2位								
U20世界選手権(ヨルダン)	女子50kg 3位										
京都府高校生レスリング・グレコローマン選手権大会 (海洋高等学校)			80kg級 1位	55kg級 1位		60kg級 1位	71kg級 2位	51kg級 3位	55kg級 2位	65kg級 3位	92kg級 2位
第10回京都府高校生女子レスリング選手権大会	軽量級 1位	重量級 1位									

令和5年度 丹後緑風高等学校全国部活動入学者選抜レスリング結果一覧

令和5年12月現在

	島根県松江市 出身(女)	広島県広島市 出身(女)	静岡県静岡市 出身(男)	大阪府吹田市 出身(男)	三重県四日市市 出身(男)	静岡県焼津市 出身(男)	東京都大田区出身 (男)	栃木県芳賀郡 市出身(男)	東京都府中市出 身(男)	静岡県藤枝市 出身(男)	埼玉県和光市出 身(男)
第39回全国高校生グレコローマンスタイルレスリング選手権大会(滋賀県・ウカルちゃんアリーナ)			80kg級 2位	55kg級 7位							
特別国民体育大会・フリースタイル(鹿児島県・日置市吹上浜公園体育館)		女子62kg級	少年80kg級	少年55kg級 5位							
特別国民体育大会・グレコローマンスタイル(鹿児島県・日置市吹上浜公園体育館)							少年71kg級 5位				
第16回全日本女子オープン選手権(静岡県・焼津市総合体育館)		U17 61kg級 優勝									
令和5年度京都府高等学校レスリング競技新人大会兼全国選抜大会京都府予選会・学校対抗戦(丹後緑風高等学校)	優勝										
令和5年度京都府高等学校レスリング競技新人大会兼全国選抜大会京都府予選会・個人対抗戦(丹後緑風高等学校)			80kg級 優勝	60kg級 優勝	51kg級 2位	60kg級 2位	71kg級 優勝	51kg級 3位	55kg級 優勝	65kg級 優勝	92kg級 優勝
天皇杯日本選手権大会(東京都・代々木競技場第2体育館)	女子50kg級 3位	女子62kg級 3位									

No4 第3回京丹後市民陸上記録会

分野	スポーツ	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	執行予定額 (基金充当予定額)	300千円 (238千円)
目的	スポーツの基礎となる陸上競技の機会の提供、また、市民のスポーツ実施率向上、健康づくり及び体力づくりの向上、市のスポーツ振興に寄与することを目的とする。				
事業概要・主な経費	<p>○主催 京丹後市</p> <p>○主管 北丹陸上競技協会</p> <p>○日時 令和5年7月9日(日) 午前8時30分受付(午前10時 競技開始)</p> <p>○会場 峰山途中ヶ丘公園 京丹後はごろも陸上競技場</p> <p>○参加資格 (1)小学生以上で、京丹後市に在住・在勤であること。 (2)車いす競技は、健常者であっても出場することができる。</p> <p>○種目 (1)一般競技の部(10種目・男女別) 60m、100m、800m、1500m、3000m 4×100mR、走幅跳、砲丸投、やり投、ジャベリックボール投 (2)車いす競技の部 ※申し込みなく実施なし</p> <p>○参加者 130名</p> <p>○参加料 小人：無料 大人(18歳以上)：500円</p> <p>○歳入 参加料：18,500円(500円×37人)</p> <p>○歳出 委託料：299,950円</p>			 <p>市民陸上記録会の様子</p>	
成果・課題	<p>130人のエントリーで、10種目を実施した。参加者が年々増加しており、前年96名から34名増加した。市民の健康・体力づくりのきっかけづくりとして市のスポーツ振興に寄与することができた。</p> <p>さらに広報等に周知活動を行い、参加者増加を図り、市民のスポーツ実施率の向上のきっかけとなるよう努める。</p> <p style="text-align: right;">12</p>				

参加者数

(人数)

一般・高校		中学		小学		参加数合計	
男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
26	11	10	11	43	29	79	51

種目別エントリー数

(人数)

	一般・高校		中学		小学		種目別合計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
60m	2	1	3	1	15	13	20	15
100m	6	5	5	4	20	11	31	20
800m	15	6	4	2	8	7	27	15
1500m	0	0	1	1	—	—	1	1
3000m	2	0	0	0	—	—	2	0
走幅跳	7	1	3	0	9	7	19	8
砲丸投	0	0	2	2	—	—	2	2
やり投	0	0	—	—	—	—	0	0
ジャバリックボール投	0	0	0	0	12	2	12	2
性別合計	32	13	18	10	64	40	114	63
種別合計	45		28		104			
総計	177							

(チーム数)

	一般・高校		中学		小学		種目別合計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
4×100mR	1	1	0	1	4	2	5	4
男女混合4×100mR	1		0		1		2	

No5 京丹後市文化芸術振興計画及び文化庁移転に伴う文化芸術推進事業

分野	文化	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	執行予定額 (基金充当予定額)	3,105千円 (1,553千円)
目的	<p>本市文化芸術振興条例に基づき策定し、令和5年4月から施行する「京丹後市文化芸術振興計画」では、『文化芸術を楽しむ 人が輝く京丹後～はぐくむ、つなぐ、いかす“日本のふるさと丹後”の文化を次世代へ～』を理念とし、本市の豊かな文化的資源を継承・活用して、市民が文化芸術に親しみ、愛着や誇りを感じられる文化芸術のまちづくりを進めます。</p> <p>この理念を実現するために定めた6つの基本方針に沿って、文化芸術活動機会の確保や文化的資源の継承、文化芸術関連団体の振興や人材育成、情報発信などの事業に取り組み、まち全体で文化芸術を楽しむ気運の醸成につなげます。</p>				
事業概要・主な経費	<p>1「京丹後アートフェスティバル」の開催 市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供するため、9～2月の5か月間のフェスティバルを開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 予定額 1,946千円（基金充当予定額 973千円） ■ 主な経費 <ul style="list-style-type: none"> ・「みるプログラム」 554千円（需用費（印刷製本費） 495千円、ほか） ・「知るプログラム」 1,211千円（報償費（謝金） 505千円、委託費315千円、需用費（消耗品費） 240千円、ほか） ・「シンポジウム」 181千円（報償費（謝金） 71千円、需用費（印刷製本費） 40千円、ほか） <p>2「落語会・落語体験塾」の開催 1,158,300円 (基金充当予定額580千円)</p> <p>令和4年度に京丹後文化のまちづくり実行委員会が「韓哲・まちづくり夢基金事業補助金」を活用して開催した落語会と落語ワークショップを、令和5年度は実行委員会と市教委が共催し実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 主な経費：委託料 1,158,300円 ■ 落語体験塾：R5.11.9 網野中学校（2年生）72名 R5.11.10 大宮中学校（全校）237名 ■ 落語三人会：R5.11.10 チケット回収枚数246枚（販売251枚） 			成果・課題	<p>1「京丹後アートフェスティバル」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内での様々な鑑賞の機会を一体的に広報することができた。それにより市内で活動するアーティストや、アートイベントを実施する個人、団体等との連携を図れた。 ・ワークショップには市内外から参加があり、新しい活動体への可能性を感じる一方、市文化協会等すでに活動を起こしているひとの関心が低く、スキルアップや関係性の拡張にはつなげていない。 <p>2「落語会・落語体験塾」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「落語体験塾」では、多くの生徒にプロの落語家による落語に触れる機会を提供し、文化芸術への興味関心を醸成することができた。将来、文化芸術を担う人材につながることを期待する。 ・「落語三人会」は満席で、多くの市民が本物の落語を楽しむことができる貴重な機会を提供することができた。

参考資料

1「京丹後アートフェスティバル」の開催

実施内容

(1)「みるプログラム」

市内で行われるアートイベント56事業と連携し、それらの情報をアートマップとして集約。一体的に鑑賞や体験の機会を創出した。

連携団体

網野町ふれあいコンサート実行委員会、NPO法人TOMORROW、京丹後市文化協会、京丹後市文化のまちづくり実行委員会、京都:Re-Search実行委員会、丹後織物工業組合、丹後吹奏楽団、丹後文化芸術祭実行委員会、丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会、丹後万博開催実行委員会、たんたんのうのう会、文化芸術発信強化実行委員会・文化庁連携プラットフォーム、ヒカリ美術館、三津の灯台アートプロジェクト実行委員会、和久傳ノ森、ほか



(2)「知るプログラム」

市内在住のプロのアーティストによる、文化的資源をモチーフに、アーティストの専門性を掛け合わせた3種類の連続ワークショップを実施した。

①「郷土資料」×「陶芸」みなみなさないをする 講師：金井 悠（陶芸家）

第1回	10月29日（日）	アーティスト自己紹介、陶板ワークショップ
第2回	11月19日（日）	郷土資料館での鑑賞ワークショップ（1）
第3回	12月17日（日）	郷土資料館での鑑賞ワークショップ（2）
第4回	12月17日（日）	創作ワークショップ 架空の郷土資料を粘土で制作する
第5回	1月20日（土）	郷土資料館で発表



②「劇場」×「ダンス」たngoのだんす、どうなっとなるだあ 講師：宮北裕美（コンテンポラリーダンサー）

第1回 10月15日（日）	アーティスト自己紹介、
第2回 11月3日（日） 11月11日（土）	ダンス表現のリサーチ（1） コンテンポラリーダンス公演の鑑賞、モダンダンスの見学
第3回 11月25日（土）	ダンス表現のリサーチ（2） 海外ダンスカンパニーのプレゼンテーション聴講
第4回 1月8日（月）	劇場探検ツアー
第5回 1月28日（日）	舞台作品の制作体験、発表



③「小牧源太郎」×「フレスコ画」京丹後ルネサンス 講師：川田知志（美術家）

第1回 10月22日（日）	アーティスト自己紹介
第2回 10月22日（日）	小牧源太郎展鑑賞、学芸員によるレクチャー
第3回 12月2日（土）	シュルレアリスムの手法を用いたスケッチ
第4回 1月14日（日）	フレスコ画制作（1） 下地づくり、下絵制作
第5回 2月3日（土）	フレスコ画制作（2） フレスコ画を描く



（3）シンポジウム

京丹後アートフェスティバルをふりかえり、今後の市の文化振興について考えるシンポジウムを開催する。

日時 令和6年2月25日（日）10:00～12:00

会場 アグリセンター大宮

ゲスト 近藤のぞみ氏（芸術文化観光専門職大学 講師）、ほか